

【野口・岩内・熊野地区】

# 地域農業の将来（地域計画の策定）に 関するアンケート調査の結果について

# 調査概要

## 【野口・岩内・熊野地区】

### 調査の目的

農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加が深刻化しており、今後の農業の展望を描くのが困難となりつつあります。

このような中で、農業者や所有者が地域の現状と将来の地域課題を共有することや、今後の農地利用を担う経営体への農地集約化に関する将来方針決定のための意向把握することを目的に実施いたしました。

### 調査期間

令和5年4月10日～令和5年4月28日

### 調査方法

郵送及びJ A紀州にて配布・回収

### 調査対象者

御坊市で営農を行う耕作者

御坊市に農地を所有する土地所有者

### 回収状況

対象者数 151名

回答者数 97名

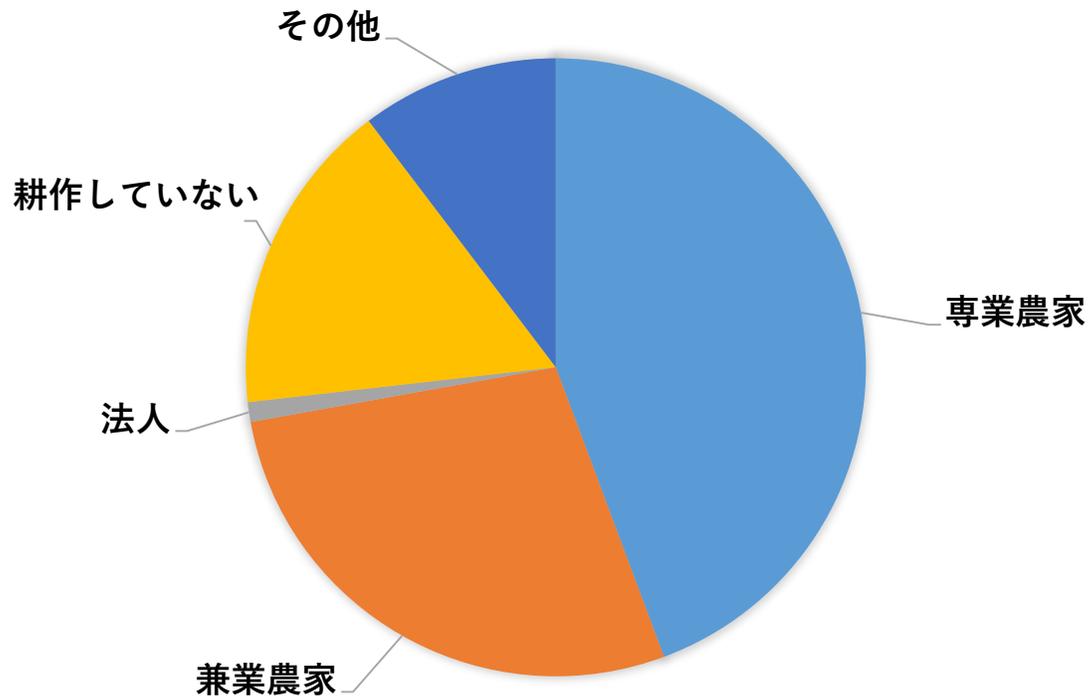
回答率 64.24%

### ◎注意事項

① 割合は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100パーセントにならないことがあります。

# 経営の種類

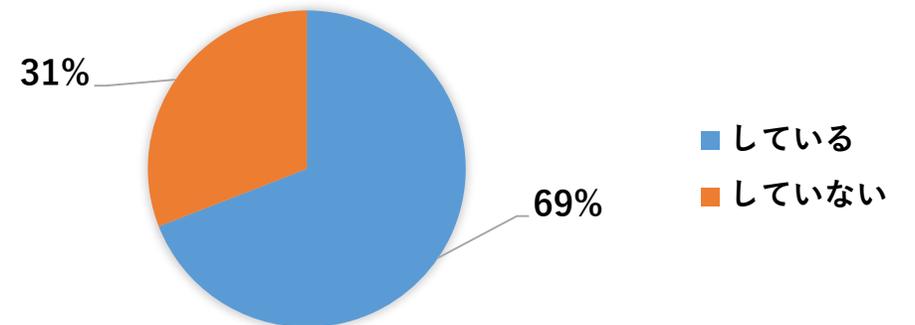
## 【野口・岩内・熊野地区】



項目	回答数	割合
専業農家	43	44.33%
兼業農家	27	27.84%
法人	1	1.03%
耕作していない	16	16.49%
その他	10	10.31%
合計	97	

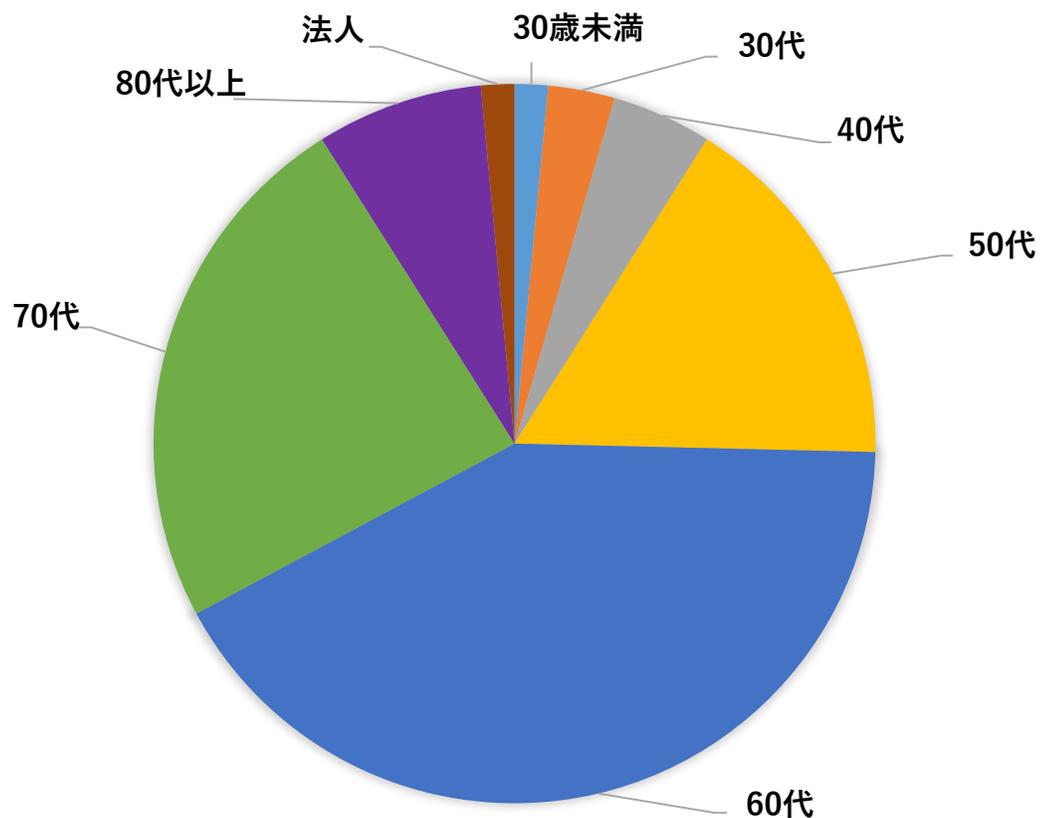
回答者の約69%が農業経営を行っており、専業農家が約44%を占める。

### 回答者の農業経営の割合



# 営農している方の年齢割合

【野口・岩内・熊野地区】



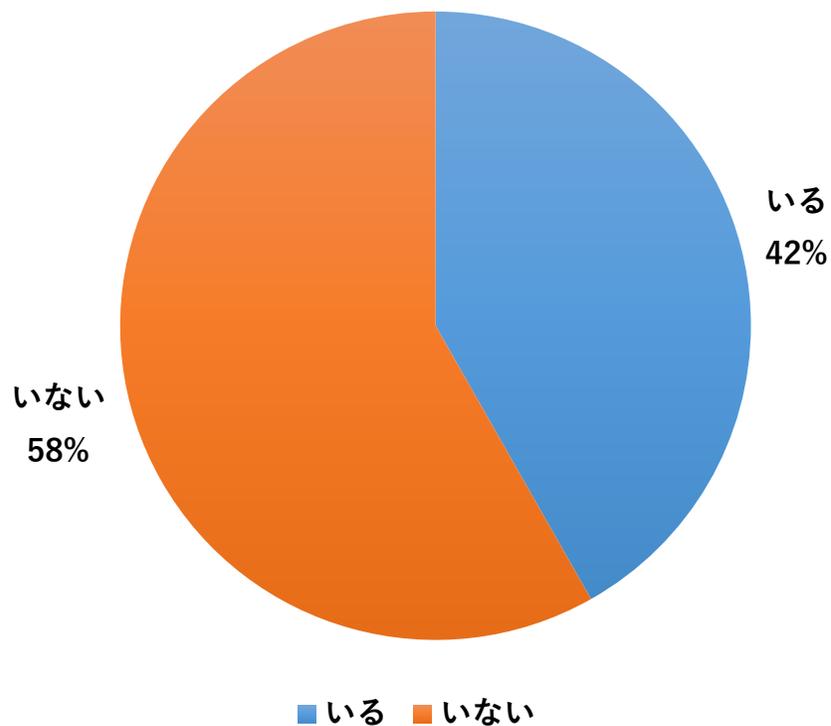
項目	回答数	割合
30代未満	1	1.49%
30代	2	2.99%
40代	3	4.48%
50代	11	16.42%
60代	28	41.79%
70代	16	23.88%
80代以上	5	7.46%
法人	1	1.49%
合計	67	

主に本人が耕作している場合の年齢層は、60、70歳代が全体の約65%を占める。後継者に継承しない場合、10年後には70歳代に移行していくこととなる。

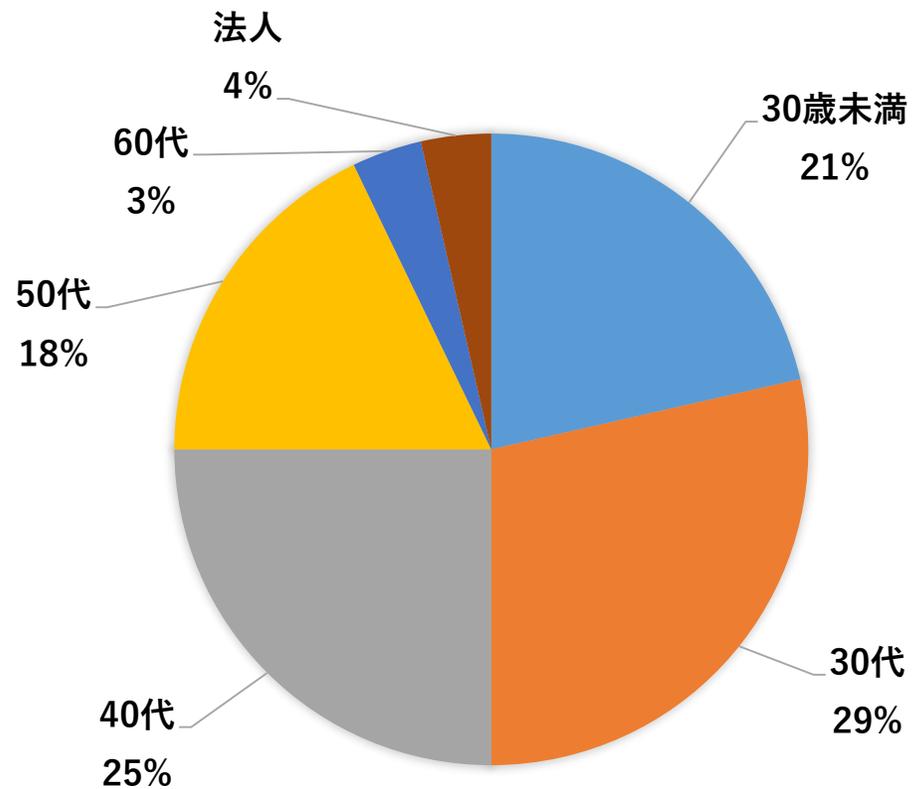
# 後継者について

【野口・岩内・熊野地区】

## 農業後継者がいるものの割合



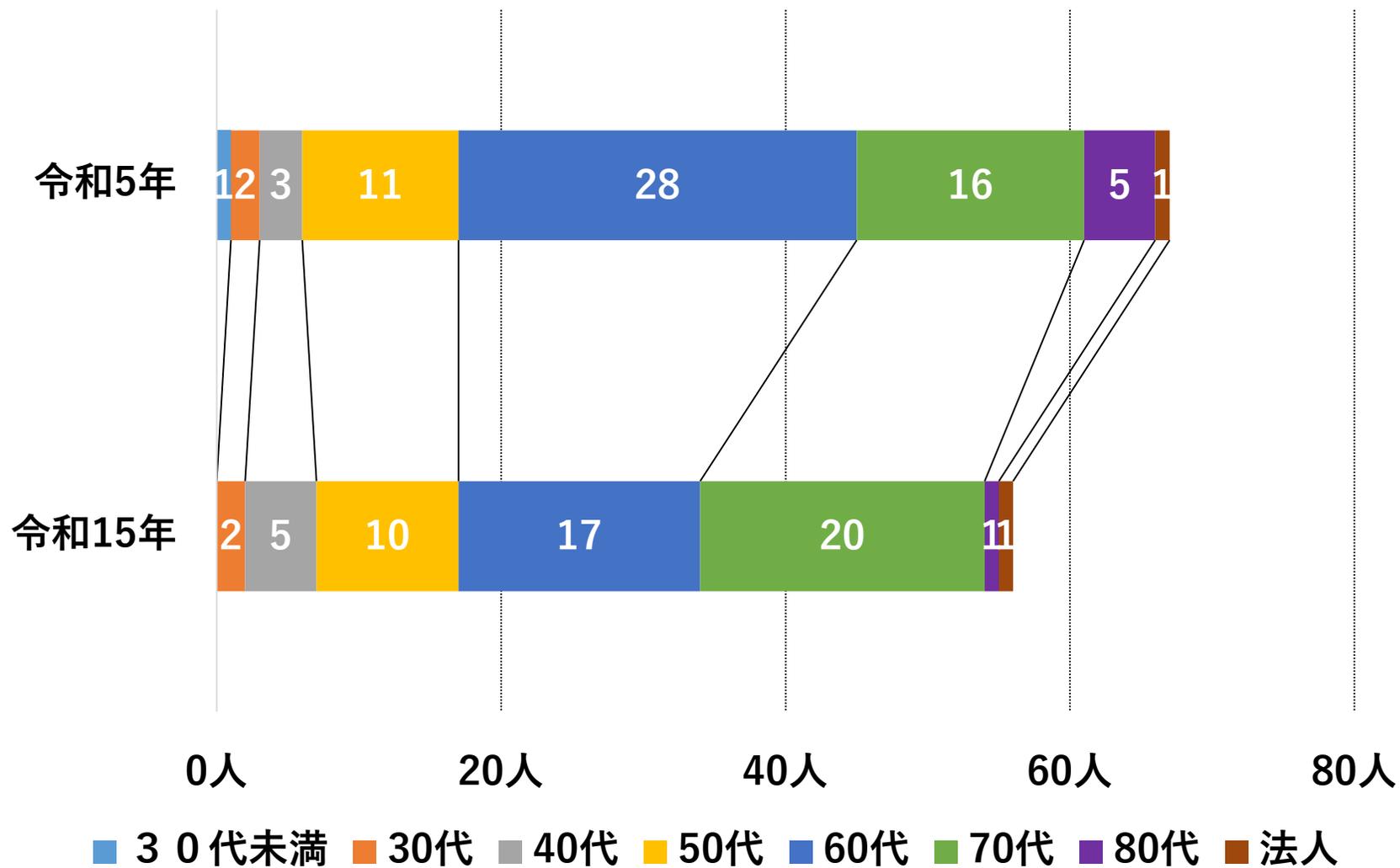
## 後継者の年齢



農業後継者がいるものの割合は約42%にすぎず、今後担い手不足は加速すると思われる。

# 現在と10年後の耕作者の状況

【野口・岩内・熊野地区】



現在耕作者の年齢分布は60歳代中心で10年後には70歳代が中心となる。また離農者が増えることにより農業経営人数は減少する。

# 地域農業の在り方に関するご意見（抜粋）

## 【野口・岩内・熊野地区】

- 農地の集約化、農作業のさらなる効率化を図り小規模な個人営農から法人経営への移行をさらに進めることにより、持続可能な地域農業を目指すことが今後必要ではないか。
- 農機具等の設備投資に費用がかかるので、それに見合う農作物の価格設定がなされていない。
- 基盤整備をしないと借手がない。
- 米が年々安くなる。経費が高くなる。機械が高くなる。等